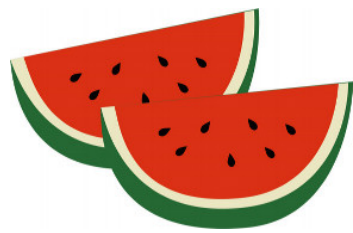


レクリエーションのご案内

絵画教室

8月は絵画教室はお休みです。



法人からのご案内

新年度(平成29年)度賛助会員募集中!

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

法人の最新情報は下記のホームページでご覧になれます!

発行

特定非営利活動法人 山脈 理事長 笹澤 繁男

住所：群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2(みやま工房内)

電話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運営施設 就労継続支援B型事業所「みやま工房」

就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」

多機能型事業所(生活訓練・就労継続支援B型)ワークハウスみやま

グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・4号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)

NPO
法人

山脈ニュース

2017年
8月号

地域交流事業「第8回やまなみまつり」の準備スタート!

今年も地域交流事業「第8回やまなみまつり」の準備が始まりました。毎月1回、地域交流事業委員会を開催し、企画が練られています。

「第8回やまなみまつり」

【日時】平成29年11月11日(日) 10:00~13:00 (雨天決行)

【会場】特定非営利活動法人山脈
就労継続支援B型「みやま工房」中庭
北群馬郡吉岡町大字南下 983-2

【内容】①ふれあいマルシェ(模擬店)による授産製品等の販売
②ステージ企画(バンド演奏、地元文化団体等による発表)
③ピア活動グループ「ホープ・オブ・ハート」による公開ミーティング
④フリーマーケット
⑤子供広場(ヨーヨー釣り、射的、輪投げ)
⑥お楽しみ大抽選会
※都合により内容は変更する場合があります。



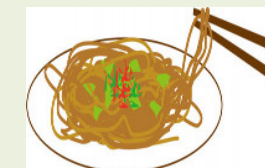
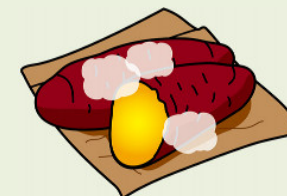
ふれあいマルシェ(模擬店)の出店者を募集中!

「第8回やまなみまつり」のふれあいマルシェ(模擬店)に出店して頂ける福祉事業所を募集します。是非、各事業所の自慢の自主製品や授産製品の販売をして頂き、このイベントを賑やかなものにして下さい。

出店をご希望される事業所は、下記の「第8回やまなみまつり」実行委員会までご相談下さい。

お楽しみ大抽選会に賞品協賛頂ける企業様・団体様を募集中!

例年、「やまなみまつり」の目玉企画になっています「お楽しみ大抽選会」に賞品の協賛を頂けます企業様・団体様を募っています。ご協賛を頂きました企業様・団体様につきましては、「やまなみまつり」のチラシにご芳名を記載しご紹介させていただきます。よろしくお祈りいたします。



連絡先 「第8回やまなみまつり」実行委員会
担当 笹澤

TEL 0279-54-2947 Fax 0279-54-9171

E-mail rep@npo-yamanami.jp

授産事業委員会の活動報告

【構成】 各事業所の授産事業に関する責任者で構成されています。

やまびこ(レアメタル事業) 渡邊裕治

アグリハウス(農業事業) 千葉敏勝

麦のゆめ(製菓製パン事業) 笹澤賢一

キッチンハウスみやま(宅配弁当事業) 船津和彦

ワークハウスみやま(請負作業事業) 松本憲之

【内容】 工賃向上に資するため各授産事業の利益追求に特化し、新たな授産事業の情報収集や意見交換等を行っています。また、施設外研修への参加、先進施設の見学も行っています。

【研修】

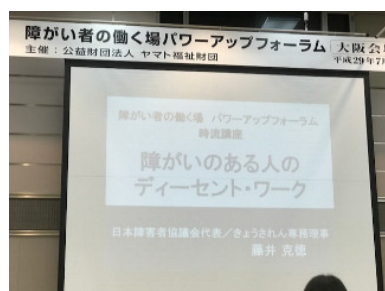
1. 障がい者の働く場 パワーアップフォーラム「経済的自立を備えた新しい福祉を目指して」

主催 公益財団法人ヤマト福祉財団

①7月7日 大阪会場 「食」で広がる障がいのある人の働く場

参加者 笹澤賢一(麦のゆめ)、船津和彦(キッチンハウスみやま)

大阪会場では、ヤマト福祉財団主催の「夢へのかけ橋実践塾」でお弁当事業に特化した「楠元塾」を開講している社会福祉法人キャンパスの会の楠元洋子理事長による「お弁当・高齢者向け配職サービスに夢を託して」と題した講演会や「食」に関わる事業所が出店・実演する大試食会が行われました。16の事業所が出店し、地産品・特産品等を活かしたお菓子やパン、スープやカレー、焼きそばなど多種多様な商品が並びました。また、出店した事業所から3事業所が事例報告を行いました。その中でも、和歌山県で農業と切り干し大根等の農産物加工を行う就労継続支援A型「はまゆう作業所」の管理者の方の報告は圧巻でした。毎日2千本、年間20万本の大根を切り干し大根に加工し、近畿のスーパーをはじめ、全国販売しているそうです。「作っても作っても商品が足りません」、「ライバルは一般企業です」、「農業は儲かります」という言葉が印象的でした。



②7月21日 東京会場 「重い障がいのある人の仕事づくり」

参加者 渡邊裕治(やまびこ) 松本憲之(ワークハウスみやま)

③8月25日 金沢会場 「農業と福祉の連携に取り組む障がい者の働く場」

参加予定者 千葉敏勝(アグリハウス)、笹澤賢一(麦のゆめ)

【施設見学】

1. 農業に取組み高工賃を達成している「社会福祉法人ゆずりは会・就労移行支援B型ゆずりは」

7月24日、前橋市青梨子町で20町歩もの農地を管理し、玉ねぎ、枝豆を中心とした農業事業で平均工賃4万円以上を達成している「社会福祉法人ゆずりは会」の事業所を見学しました。大規模化と機械化により、障がいのある方が作業に参加できる職場環境を整えている点が勉強になりました。次は平均工賃5万円を目指していて、それも近く実現しそうだということでした。



2. 安心と信頼で多くの民間企業と取引をしている「社会福祉法人あざ美会・インフィニット」

7月26日、今年の4月に太田市大原町に開所した「社会福祉法人あざ美会」の「就労継続支援B型インフィニット」に見学しました。主にパソコンを中心とした小型家電品の解体分別を行うレアメタルリサイクル事業を行っています。管理者の萩原氏は、長年に渡り民間企業の営業マンとして第一線で活躍されてきた経験を経て、障がい者福祉の世界に飛び込んでこられました。「我々は単に、パソコンを解体しているのではない。安心をお客様に提供しているんです。」という民間企業の営業で培われた言葉が印象的でした。我々も大いに刺激を受けてきました。

